

守谷、逃げ切る

秋季関東高校野球

県大会地区予選

戦計11試合が行われ、県北、県西の両地区は代表校が出そろった。

第74回秋季関東高校野球

球県大会地区予選第4日は8日、坂東市岩井球場などで3地区の代表決定

磯原郷英はシードの日

立北を6-4で振り切り、3年ぶりに県大会に進んだ。太田一は延長十

①…守谷のエース萩原躍し、チームを県大会へ導いた。

エース萩原、投打で躍動

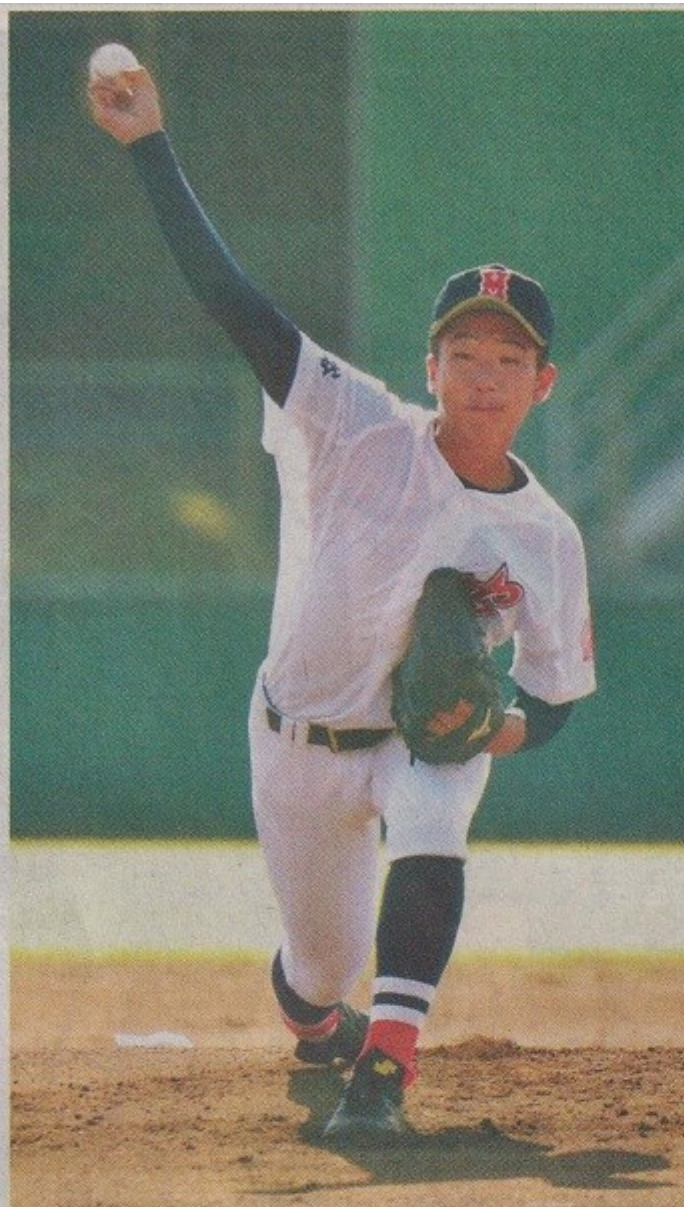
4-2で下館一から逃げ切った。このほか、水城、水戸一、境などが県大会進出を決めた。

最終日は9日、ノーブルホーム水戸などで水戸

県西地区

(坂東市岩井球場ほか)

地区の代表決定戦残り4試合が行われ、県大会出場校が出そろった。



守谷―下館一 9回2失点と好投した守谷のエース萩原。坂東市岩井球場

躍し、チームを県大会へ導いた。持ち味の直球で押し込み、9回を2失点にまとめた。この日の気温は25度を超え、暑さから七回途中に足をつるアクシデントもあったが、めげずに力投。走者を背負っても「春や夏の経験を生かして落ち着いて投げられた」と頼もしかった。

3番打者としては一回1死二塁、直球を捉えて中前へ運び、自ら先制点

を挙げた。三回にも左中間への適時二塁打を放ち追加点を奪った。千代川中時代は捕手だった。高校に入学後、伸びのある球が鈴木厚監督(53)の目に留まり投手に転向した。2年春からエースナンバーを背負い、投打の要を担っている。

県大会出場は2年ぶり。萩原は「レベルが上がると思うが、全力で挑みたい」と闘志を燃やした。